

2017年3月29日
株式会社フジテレビジョン
日本マイクロソフト株式会社

フジテレビと日本マイクロソフト、 新しい視聴者体験を提供する クラウド/AI 技術で連携

Microsoft Azure の AI 技術を活用し、動画コンテンツのグローバル対応を目指す

『DREAM FACTORY (ドリファク)』は、あなたの夢を応援します！

株式会社フジテレビジョン（本社：東京都港区、代表取締役社長 亀山 千広 以下「フジテレビ」）と日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長：平野 拓也 以下「日本マイクロソフト」）は、新しい視聴者体験を提供する クラウド/AI 技術で連携することを発表します。連携の第一弾として、「DREAM FACTORY（以下「ドリファク」）」の基盤として日本マイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム Microsoft Azure を採用し、その動画配信機能と AI 機能を活用した新しい視聴者体験サービスを展開します。

ここ数年、多くの動画配信プラットフォームが乱立しています。コンテンツ争奪戦が激化し、その生き残りをかけ各メディアにはオリジナルコンテンツの制作が求められています。フジテレビは誰よりも早くコンテンツを「作る人」「出る人」に出会い、来るべき2020年代に主役となるであろう、あらゆるジャンルの才能を発掘するために「DREAM FACTORY <http://dreamfactory.video/>」という再生数ランキング形式の動画投稿サイトを2017年1月16日に立ち上げました。昔は制作者も出演者もフジテレビで育ち、フジテレビを心から愛する「フジっ子」と呼ばれるタレントやクリエイターたちが数多くいました。「DREAM FACTORY」は今一度「フジっ子」を作るエンジンとして位置付けています。

日本マイクロソフトでは、企業ミッションとして「地球上のすべての個人とすべての組織が、より多くのことを達成できるようにする」を掲げています。企業ミッションに基づき、最新のクラウド、AIなどのテクノロジーを活用し、お客様のデジタルトランスフォーメーションの推進を支援しています。このたび、フジテレビの展開するドリファクの方向性に賛同し、クラウド/AIの観点で連携することで、日本のアーティストやクリエイターが「より多くのことを達成する」ことを応援します。

DREAM FACTORY (ドリファク) で提供する新しい視聴者体験

フジテレビは、24 時間総合編成のインターネット有料チャンネル「フジテレビONE/TWO/NEXTsmart」での配信基盤としての実績と今後のグローバル展開を踏まえ、日本マイクロソフトが提供するクラウドプラットフォーム Microsoft Azure の動画配信サービス Media Services をドリファクの配信基盤として採用しています。フジテレビが掲げるドリファクでの最終的な目標は、ここから育った「才能」を世界に羽ばたかせることです。その第1歩として新しい視聴者体験を提供するため、Microsoft Azureの Cognitive Services と Media Analytics (*1) をドリファクに実装し、自動字幕生成機能を2017年7月1日より英語・中国語・スペイン語・フランス語から、順次提供を開始します。この機能によって、動画の音声は自動でテキスト化されるだけでな

く、最大9か国語（*2）に自動翻訳されていくことを目指します。クリエイターは言葉の壁を飛び越え、海外進出することができるようになります。アーティストやクリエイターは「DREAM FACTORY」に自分たちだけのコミュニティ=チャンネルを持ち、そのチャンネルから自身の動画を通じて世界にメッセージを発信することが可能になるのです。

日本語の認識率の向上にむけた取り組み

日本マイクロソフトでは上記のフジテレビの最終目標及び新しい視聴者体験を支援するため、ドリファクからコンテンツ提供を受け、Microsoft Azure の AI 機能の日本語の認識率をより向上させるための取り組みを行います。AI の認識率の向上には、より多くの実データからの学習が効果的と考えており、日本語の認識率をより向上させるためには、日本語のコンテンツを多く保有しているフジテレビからのコンテンツ提供は非常に有用となります。

連携における両社の役割

フジテレビ

- クラウドプラットフォームおよび AI 技術を活用した新しい視聴者体験を提供する動画配信サービス開発およびサービス基盤の構築
- AI 技術を活用した新しい視聴者体験を提供する映像コンテンツの開発
- ドリファクのコンテンツを AI 技術の向上のための研究材料として日本マイクロソフトに提供

日本マイクロソフト

- クラウドプラットフォームおよび AI 技術に関する最新情報の提供
- 新しい視聴者体験を提供する動画配信基盤構築および映像コンテンツ開発のための技術支援体制の整備とサポート
- ドリファクから提供されたコンテンツを AI 技術のブラッシュアップのための研究材料として活用し、日本語の認識率の向上、顔認知技術による肖像権チェック、映像モデレート技術による成人向けコンテンツの自動排除処理、自動翻訳、索引付けなどの機能向上につなげる

両社の連携の成果は、今後フジテレビが運営するCS放送チャンネル「フジテレビ ONE/TWO/NEXT」（IP同時再送信含む）などでの活用も検討していきます。フジテレビでは、AI を活用した放送技術の向上および新しい番組作りにより、視聴者に今までにない新しい体験を提供するとともに、AI 機能を搭載したドリファクを通じ、次代を担うアーティスト、パフォーマー、クリエイターの活躍の場をグローバルに展開することを支援していきます。フジテレビと日本マイクロソフトは、動画配信業界におけるコンテンツクリエイションに関する新しい視聴者体験の提供と、未来のクリエイターを守るコンテンツ検閲といった新たなテクノロジーの創造に貢献していきます。

フジテレビがプロデュースするドリファクの最終的な目標は、2020年までに世界で活躍するアーティスト、クリエイター、パフォーマーをこのドリファクから生むことです。日本のコンテンツ産業の市場規模は約12兆円ですが、海外マーケットへのコンテンツ輸出はまだ伸びしろがあります。アニメ・ドラマ・映画など日本の映像コンテンツに加え、音楽、ゲーム、日本の豊かな食文化、ファッション、伝統工芸品など、日本ならではのクリエイティビティを発信することで、ジャパンコンテンツ・日本文化・日本語の普及に努め、ビジット・ジャパン、地方創生に貢献し、海外市場におけるジャパン・ブランドの向上に努めたいと思います。その為に、ドリファクは人材の育成と人的ネットワークを構築し、アーティスト、クリエイターの海外進出を支援したいと思います。ドリファクから世界へクリエイターと共に乗り込んでいきます。

日本マイクロソフトは、ドリファクの目指す方向性に賛同し、クラウドやAIの技術的な側面から技術支援することで、ドリファクの拡大に貢献していきます。

< 『世界に羽ばたけ！ DREAM FACOTRY ショートムービーコンテスト』について >

今回の連携を受け、世界に羽ばたくクリエイター創出を支援する活動の第1弾として、オリジナルムービーコンテスト『世界に羽ばたけ！ DREAM FACOTRY ショートムービーコンテスト』を開催します。マイクロソフトのクラウド/AI 機能を活用し、日本の魅力を世界に発信する作品を広く募集します。賞金を含めた各賞に加え、本コンテストへの投稿作品を紹介させていただく番組を、フジテレビ ONE/TWO/NEXT にて放送します。

詳細はこちら <http://dreamfactory.video/>

< 「DREAM FACTORY」について >

「DREAM FACTORY」はジャンルごとにコミュニティ分けされており、観たいジャンルの動画にすぐアクセスでき、それぞれのコミュニティの再生数や「LOVE (いいね)」のランキングが一目でわかるとも観やすい動画投稿サイトです。動画が公開されると同時に SNS 上で URL とサムネイルが発信され、投稿者はその URL を拡散することで自身の作品を宣伝することが可能です。また、他の動画投稿サイトと違い、映像チェック後に公開するため、権利侵害のないとても安全性の高い動画投稿サイトです。

4月からは地上波の人気番組『爆笑そっくりものまね紅白歌合戦スペシャル』、4月からスタートする若手芸人発掘バラエティの新シリーズ『新しい波 24』やイベントなどとコラボしていく予定で、CS放送フジテレビ ONE/TWO/NEXT では総力を挙げてドリファクを盛り上げていきます。

*1) Media Analyticsは、動画にAIを応用するサービスのAPI群です。インデクサー（ビデオの音声のテキスト化）、顔検知、顔モーション検知、ビデオの概要作成、コンテンツモデレート（規制対象コンテンツの検出）等動画から新しい洞察を抽出するための効果的な機能を提供します。 <https://azure.microsoft.com/ja-jp/services/media-services/media-analytics/>

*2) 自動字幕生成が提供される言語は、英語、中国語（標準字、簡体字）、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、アラビア語（エジプト語）、日本語の9か国語になります。今後対応言語は随時拡充する予定です。